

九州の特徴と将来像

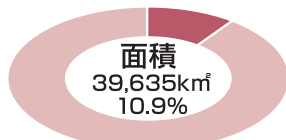
九州地方の現状

全国に占める、九州地方の人口、面積、域内総生産(名目GDP)、製造品出荷額は、1割程度です。

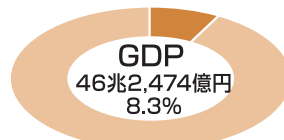
九州の恵まれた地理的環境を活かし、成長が期待される産業を今後発展させるためにも、人流・物流のネットワーク整備、すなわち社会資本整備が必要不可欠となっています。



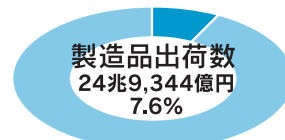
出典:令和5年1月 住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数(総務省)



出典:令和5年 全国都道府県市区町村別面積調(国土地理院)
※都県にまたがる境界未定地域は含まない



出典:令和2年度 県民経済計算(内閣府)

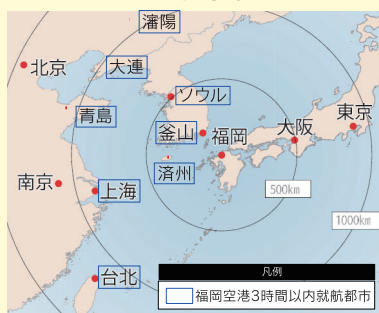


出典:2022年経済構造実態調査 製造業事業所調査(経済産業省)

九州の主な特徴

アジアの玄関口

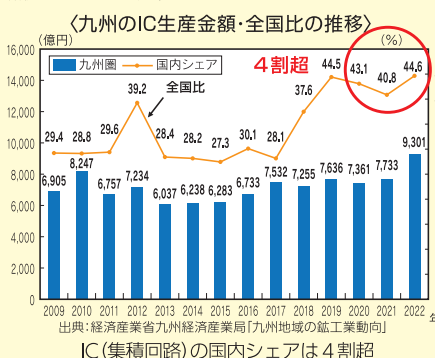
◆東アジアの概ね中心に位置している九州は古来より、アジア等の海外から人・物・情報を取り入れ、全国に伝えていくゲートウェイの役割を担ってきました。



出典:「フォーラム福岡58号」福岡アジア都市研究所
地理的にアジアの玄関口に位置する

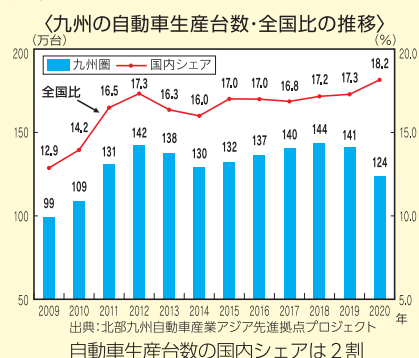
成長期待産業が集積

◆九州のIC生産金額は、近年で国内シェアを伸ばし、全国比は4割を超える高い水準を維持しており、新規拠点進出なども活発化しています。



IC(集積回路)の国内シェアは4割超

◆九州の自動車産業は完成車工場の立地に伴い、部品の製造・加工等を担う自動車関連企業の集積が北部九州を中心に進んでいます。

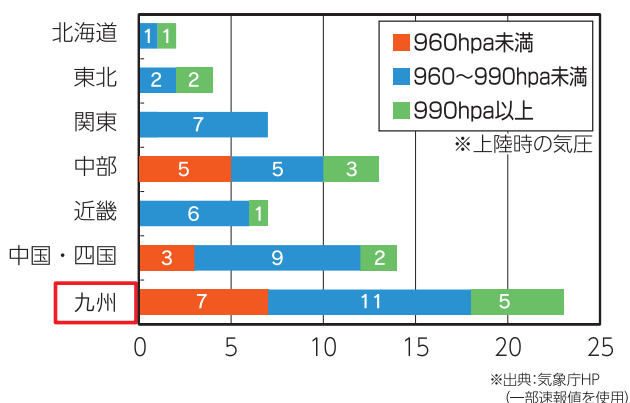


自動車生産台数の国内シェアは2割

九州の多様な災害リスク〈台風・豪雨・火山噴火・地震〉

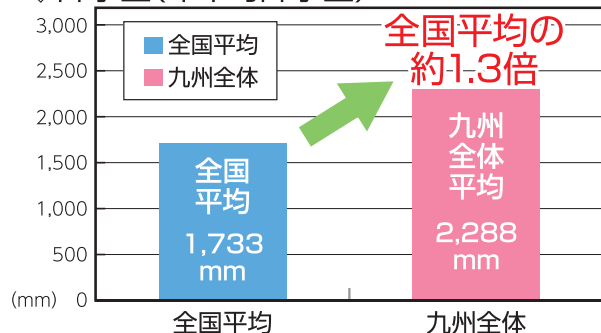
九州地方は、国内の他地域と比較して、台風の上陸回数が多く、火山活動が活発であるなど災害リスクが高くなっています。

◇地域別台風上陸回数(2001.1~2023.12)



※出典:気象庁HP (一部速報値を使用)

◇降水量(年平均降水量)



※出典:令和4年度版日本の水資源の現況(1992~2021年の平均値)

◇活発な活動が続く活火山

九州地方は、全国で111ある活火山のうち、17の活火山を有しています。また、気象庁が発表している噴火警戒レベルが2以上の活火山を複数有しています。

■活発な火山活動(令和6年1月19日現在)

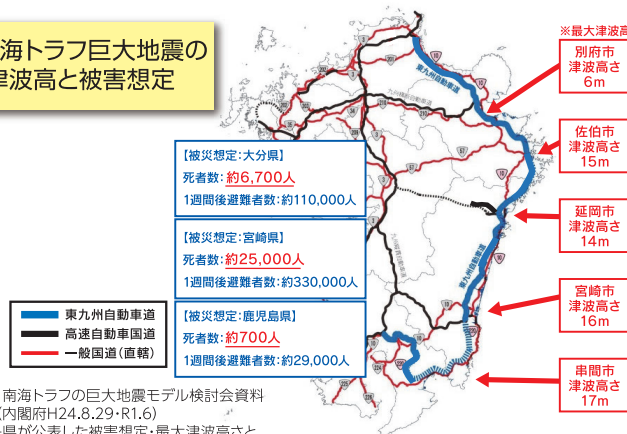
桜島	レベル3
口永良部島	レベル3
諏訪之瀬島	レベル2
薩摩硫黄島	レベル2
浅間山	レベル2

噴火警戒レベル2以上の全国5火山のうち九州に4火山

※参考 噴火警戒レベル
レベル5(避難)
レベル4(避難準備)
レベル3(入山規制)
レベル2(火口周辺規制)

出典:気象庁HP

◇南海トラフ巨大地震の津波高と被害想定



出典:南海トラフの巨大地震モデル検討会資料(内閣府H24.8.29-R1.6)

注)各県が公表した被害想定・最大津波高と異なる部分があります。

九州の将来像

九州圏広域地方計画（第二次）

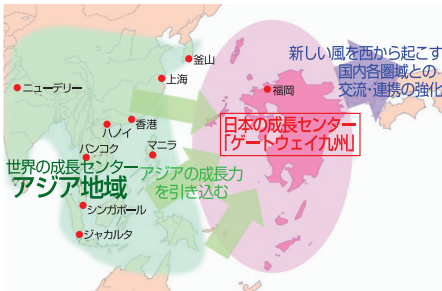
日本の成長センター「ゲートウェイ九州」～新しい風を西から～

・広域地方計画は、国土形成計画法に基づき平成27年8月に閣議決定された「国土形成計画（全国計画）」を受け、各広域ブロックの自立的発展に向け、今後概ね10年間の地域のブランドデザインをとりまとめたものです。

九州圏の3つの将来像

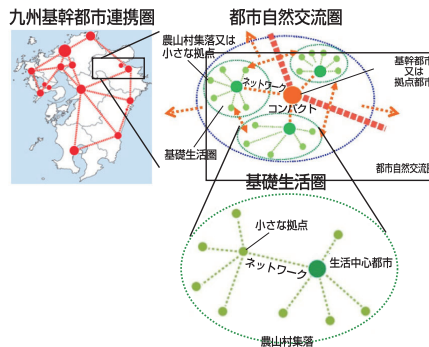
1. 日本の成長センター「ゲートウェイ九州」

- ・世界の成長センターであるアジア地域の成長力を引き込む日本の成長センター「ゲートウェイ九州」となって、日本の経済成長に貢献することを目指す。



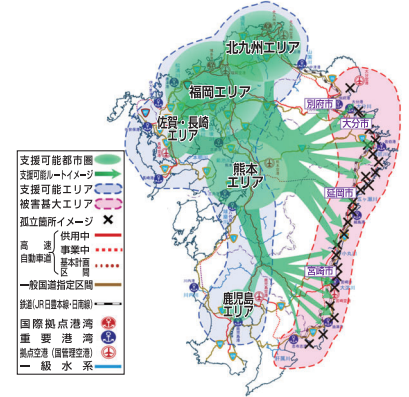
2. 三層の重層的な圏域構造からなる「元氣な九州圏」

- ・新技術等による戦略的な産業基盤強化、オール九州農林水産物の輸出拡大を目指す。



3. 巨大災害対策や環境調和を発展の原動力とする「美しく強い九州」

- ・地域の発展基盤として、巨大災害対策や環境の調和の推進を目指す。



将来像の実現に向けた戦略(プロジェクト)

- ・将来像の実現に向けて、重点的に取り組む5つの戦略とそれを支える12のプロジェクトを設定しています。

新たな九州圏広域地方計画（第三次）を策定中

アジアの成長センター「アイランド九州」

国土形成計画(全国計画)

- ・令和5年7月28日に第三次となる国土形成計画（全国計画）が閣議決定されました。

新たな国土の将来ビジョン

時代の重大な岐路に立つ国土

- ・地域の持続性、安全・安心を脅かすリスクの高まり
- ・コロナ禍を経た暮らし方・働き方の変化
- ・激動する世界の中での日本の立ち位置の変化

目指す国土の姿 「新時代に地域力をつなぐ国土」

- ・デジタルとリアルな融合による活力ある国土づくり
- ・巨大災害、気候危機、緊迫化する国際情勢に対応する安全・安心な国土づくり
- ・世界に誇る美しい自然と多彩な文化を育む個性豊かな国土づくり

国土構造の基本構想 「シームレスな拠点連結型国土」

《広域的な機能の分散と連結強化》 《持続可能な生活圏の再構築》

《国土の刷新に向けた重点テーマ》

- デジタルとリアルが融合した地域生活圏の形成
- 持続可能な産業への構造転換
- グリーン国土の創造
- 人口減少下の国土利用・管理

《横断的な重点テーマ》

- 国土基盤の高質化
- 地域を支える人材の確保・育成

分野別施策の基本的方向

- 地域の整備○産業○防災・減災、国土強靱化
- 国土資源及び海域の利用と保全
- 環境保全及び景観形成
- 文化・スポーツ及び観光
- 交通体系、情報通信体系及びエネルギーインフラ

計画の効果的推進

広域地方計画の策定・推進

- 地理的空間情報等を活用したマネジメントサイクルと評価の実施
- 広域地方計画協議会を通じた広域地方計画の策定・推進

新たな九州圏広域地方計画(基本的な考え方)

- ・令和5年7月5日に新たな九州圏広域地方計画の策定に向けた「基本的な考え方」をとりまとめ公表しました。
- ・第三次の全国計画に基づき、新たな九州圏広域地方計画（第三次）の策定に向け検討中です。

【将来像】

アジア諸地域に最も近い地理的特徴を活かして、アジアの経済や産業、賑わいの中心となって成長をけん引し、国内だけでなく世界から憧れとされる地域となるため、「九州はひとつ」として自立的発展を目指すことを表して、将来像を「アジアの成長センター『アイランド九州』」とする。

目標1. 成長エンジン「アイランド九州」

国際競争力を高め、アジアの経済をけん引する成長センターとなり、多様な人々が集い賑わう国際交流の拠点「成長エンジン『アイランド九州』」を目指す。

目標2. 自立型広域連携「アイランド九州」

重層的な生活・経済圏域を基盤として、離島・半島・中山間地域等を含めデジタルとリアルによる多様なネットワークで連結することで、都市の利便性と地方の快適性が共生した、「住んでよし」「働いてよし」「育ててよし」が実感できる幸福度の高い「自立型広域連携『アイランド九州』」を目指す。

目標3. 強く美しい「アイランド九州」

地震や豪雨等、あらゆる大規模災害等に対し強靱な九州を構築するとともに、美しい自然を保全し、環境負荷の少ないカーボンニュートラルの実現をリードする「強く美しい『アイランド九州』」を目指す。

九州圏広域地方計画ホームページ
<http://www.qsr.mlit.go.jp/suishin/>

九州圏広域地方計画

検索

